

# 白熱教室：これが日米FTA交渉の実態だ

講師：鈴木宣弘(すずきのぶひろ) 東京大学大学院教授



東京大学大学院農学生命科学研究科教授、東京大学博士(農学)

単著：食の戦争 米国の罠に落ちる日本(文芸春秋)

ここが間違っている！日本の農業問題(家の光協会)

共著：TPPで暮らしはどうなる(岩波書店)

規制改革、自由貿易の名目で、公共的・共助的なルールや組織を破壊し、命を守り、命を救うよりも日米オトモダチ企業の利益を増やそうとする動きが止まらない。TPP11(米国抜きのTPP)を、米国も含めたTPP12の内容を11カ国にそのまま譲歩して2018年12月30日に発効、それとセットのTPP12合意以上に譲る日米FTA交渉を2019年4月に開始、TPP以上でいいからと急がせた日欧EPAも2019年2月1日に発効、さらにRCEP(東アジア地域包括的経済連携)も「TPPプラス」にしようと「TPPゾンビ」の増殖に邁進している日本。つまり現状は、大問題になったTPP12より悪化していることを、まず深刻に受け止めないといけない。特に、日米FTAは米国からのかねてからの要求を受け入れる「総仕上げ」になると懸念される(「失うだけの日米FTA」鈴木宣弘東京大学大学院教授)。参議院選挙が終わり、いよいよトランプ米大統領が「日米貿易交渉で大きな前進があるぞ」とツイートしていたことが現実化してくる段階となってきています。今般は、この問題にお詳しい鈴木宣弘先生に急きょおいでいただき、マスコミ報道などではわからない日米FTA交渉の実態についてご説明いただきます。(講師のお話は19時から)

**9月10日(火) 18時~21時(開場17時30分)**

会場：スペースたんぽぽ 参加費(資料代含む)：800円(学生400円)

たんぽぽ舎のあるダイナミックビルの4階 JR水道橋駅西口から5分 東京都千代田区三崎町2-6-2

tel 03-3238-9035 fax 03-3238-0797 Email: [nonukes@tanpoposya.net](mailto:nonukes@tanpoposya.net)

